# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 O 過疎計画掲載 ×

事 業 名	ふるさと応援	寄附金推進事	業		事業期間	平成	23年度 ~ -	- 年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-5-1	他に関連する 基本事業						所管課係	総務課庶務係
	ふるさと応援寄降 保を図る。	<b>州金の趣旨を理解</b>	してもらうととも	に、より多くの:	- 方から寄附金として	応援をいただ	くことで歳入の確	(どのような方法で	う。	附金に関するPR 対して、返礼品を			「市ホームページ」	こより全国に向けた情報発信を行
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市に寄附され	れた市外在住の方						成果 (どのような効果が 得られるのか)	市の歳入確保を	図るとともに、返	礼品を贈呈、全国	にPRすることで	: :、地域経済活性(	ヒの一助となる。
事業開始時の状況 緯														この絆を保つことで継続した寄附に

## [DO]

実績

(単位:円)

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第:	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
道	費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
地 方	ī 債	計 画 額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入その	) 他	計 画 額				0				0					0	0
à		予算計上額				0				0					0	0
6		実 績 額				0				0					0	0
れ 一 般	財 源	計 画 額	208, 205, 000	208, 205, 000	208, 205, 000	624, 615, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	1, 759, 869, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	2, 346, 492, 000	4, 730, 976, 000
		予算計上額	258, 958, 000	277, 898, 000	568, 466, 000	1, 105, 322, 000	586, 623, 000	752, 528, 000		1, 339, 151, 000					0	2, 444, 473, 000
<i>t</i> =		実 績 額	240, 328, 445	585, 856, 132	583, 450, 675	1, 409, 635, 252	712, 886, 675			712, 886, 675					0	2, 122, 521, 927
事業費	<b>合計</b>	計 画 額	208, 205, 000	208, 205, 000	208, 205, 000	624, 615, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	1, 759, 869, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	586, 623, 000	2, 346, 492, 000	4, 730, 976, 000
		予算計上額	258, 958, 000	277, 898, 000	568, 466, 000	1, 105, 322, 000	586, 623, 000	752, 528, 000	0	1, 339, 151, 000	0	0	0	0	0	2, 444, 473, 000
業		実績額	240, 328, 445	585, 856, 132	583, 450, 675	1, 409, 635, 252	712, 886, 675	0	0	712, 886, 675	0	0	0	0	0	2, 122, 521, 927
費			期末手当 395,000円	事務補助員報酬 1,858,000円 期末手当 349,000円	期末手当 376,000円		PH .	Ħ								
	予算の		寄附者への謝礼 133,000,000 円	m m	m m		普通旅費 20,000円 需要費 20,000円 通信運搬費 15,795,000円	普通旅費 20,000円 需要費 20,000円								
の一大り			消耗品費 30,000円 郵便振込用紙等印刷 109,000 円	消耗品費 30,000円 郵便振込用紙等印刷 111,000 四	普通旅費 20,000円 需要費 19,000円 通信運搬費 27,240,000円		通信連撥費 15,795,000円 手数料 133,278,000円 委託料 84,535,000円	通信連搬費 22,157,000円 手数料 183,277,000円 委託料 95,926,000円								
144			手数料 53.095.000円	通信運搬費 15,116,000円 手数料 59,756,000円	手数料 122,117,000円 委託料 101,600,000円		S 1044 04, 600, 6001 )	30, 525, 5501 )								
推				委託料 38,453,000円			中四 本場にして	<b>東ル北崎にして</b>								
移			寄附者増による 謝礼、業務委託				奇附有理による 謝礼、送料、手	寄附者増による 謝礼 送料 手								
前年度での比					数料、業務委託		数料、業務委託	数料、業務委託								
(増減5					料等の増		料等の増	料等の増								
( 1,7,7	/															
			寄附者増に伴う謝礼、	寄附者数、金額増に伴	寄附者数、金額増に伴		寄附者数、金額増に伴	<u> </u>								
中纬1.7	Λ !!« ##		送料、手数料及び業務 委託料によるふるさと	料、委託料によるふる	料、委託料によるふる		う謝礼、送料、手数 料、委託料によるふる	,								
実績との (増減理	の比戦 理由)		応援寄附金に要する経 費の増	さと応援寄附金に要す る経費の増	さと応援寄附金に要す る経費の増		さと応援寄附金に要す る経費の増	1								
(-B//X-	/		只少恒	では近り相	の柱具の相		の和耳及の相									

## [CHECK · ACTION]

## 指標の推移・評価

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:返礼品数			指標の求め方:著	<b>寄附者への返礼品</b>	の数								
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:寄附者数	,		指標の求め方:1年間の寄附者数										
		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	†画		第 7 期

						3 カ年計画			カと外天ル	3カ年計画				3次実施4カ年計	丁凹		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	_			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
Abr.	/ 12/	)指標 1 (位/回)	計画値	250	<b>{</b>	270		280 396	290	300		300	300	300	300		
指標	-	- 四/四/ - 指標 1	実績値計画値	250 9, 500	313 10, 000	302 11, 000		12, 000	13, 000	14, 000		14. 000	14, 000	14, 000	14, 000		
123	八米	: 疳標 Ⅰ ἱ位/人)	実績値	12, 522	44, 571	42, 990		51, 472	13, 000	14, 000		14, 000	14, 000	14, 000	14, 000		
		の達成度	人根但	12, 022	11, 071	12, 000	1+ -h 1: 1: : - 7	21, 112									
		動指標をも	とに評価)				達成されている										
		の成果 果指標をも	レ / 一章で/本)				上がっている										
		* 相保をも	<b>∠ I~計刊</b> ()														
		業費に対する	る成果)				上がっている										
	総合	評価					極めて良好である										
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				均学付サイトに 返	15社のふるさと納税受付サイトに返	お 学付サイトに や											
				礼品を掲載し、着	礼品を掲載すると	礼品を掲載すると	するとともに、 業務委託に上る	4 天サイトを中									
				実に寄附者数を増	ともに、新規返礼	ともに、新規返礼	未伤安託による ノウハウの活	心に制成返れ品 提供事業者の参									
				やすことができま	品提供事業者の参	品提供事業者の参	用、新規返礼品	入による新規返									
				した。奇附有件剱	人による新規返礼	人による新規返礼	事業者の拡充に	礼品の拡充によ									
				務体制の強化を図	大きく寄附者数を	大きく寄附者数を	より、成果指標	り、大きく寄附									
事				るため、ふるさと	増やすことがで	増やすことがで	を大きく上回る	者数を増やすこ									
評	ž.			応援寄附金事業の	き、成果指標であ	き、成果指標であ	ことかできた。	とかでき、成果									
価				未務の一部を安託 1. 事務の効率化	礼と品入品大増きるすしな増品規ど出た場、事を表示工業ので達さない。 は、日本の東京教育、東京教育、東京教育、東京教育、東京教育、東京教育、東京教育、東京教育、	る10,000人を達成 することができま		扫標じめる 12,000人を達成									
務内				を図るとともに、	した。今後もさら	した。今後もさら		することができ									
容	1	総合評	価の判断	民間事業者のノウ	なる寄附者件数の	なる寄附者件数の		ました。今後も									
事		理由ま	たは指標	ハウを活かしなが	増加に向け、返礼	増加に向け、返礼		安定的な財源の									
<b>→</b>		の実績	値に関す	化を図ってきたと	規仮礼品の拡充な	規仮礼品の拡充な		確保ができるよ									
		る自己	分析	ころであります。	どにより、寄附者	どにより、寄附者		う、さらなる寄									
業				結果、成果指標を	どにより、寄附者 増加に繋げていき たい。	増加に繋げていき		附者件数の増加 に向け、返礼品									
715				達成りることかで きまl.た。 今後も	/= U' o	/cu' <sub>0</sub>		提供事業者や新									
				きました。今後も 寄附者件数の増加				規返礼品の拡充									
評				に向け、返礼品の 種類を増やすこと				などにより、寄									
				性類を増やすことで、寄附者増加に				附者増加に繋げ ていきたい。									
価				繋げていきたい。				C 0 - E 72 0 - 6									
Щ																	
	今後	 の方向性					拡大										
				R5 :				R8 :				R10 :					
					寄附者数を増やする												
					点を置いて事業を												
					強の寄附件数を伸 曽やすため、砂川i												
				に、可附有数でり 知ってもらうため	a へゅため、砂川 か、WEB広告の活用	などのPR活動を引	/ // ではへ 住化していくこと										
方向	白性の半	判断理由		から「拡大」とし	ンた。							1					
改善	善、改革	革の内容															
(RE	5. R8.	R10)										1					
												1					

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	公共建築物維	持保全事業	(各課統合分)		事業期間	平成	26年度 ~ —	- 年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	6-5-2	他に関連する 基本事業	2-3-1					所管課係	総務課契約管財係
目的 (何のために実施する のか)	公共建築物を安全	♪かつ良好な状態	で適切に維持保全し	ン活用する。						管課・係において 金廃止、除却など		管理台帳・診断診	平価台帳・更新計画	<b>画台帳)を作成、集約し、計画的</b>
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市所有の公共建築	<b>E物</b> 。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	公共建築物の適均	切な維持保全が図	られる。			
事業開始時の状況 緯		公共建築物の適 の平準化を図る。		には予防保全事	事業などを計画的に	行うことが必要	要であることから、	第6期総合計画期	間中の第2次実施	施計画より各施設(	の維持保全事業を	併せて計画搭載し	たおり、効率的效	か果的な公共施設の維持保全と財政

## [DO]

実績

(単位:円)

				第 1 次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額			8, 140, 000	8, 140, 000				0					0	8, 140, 000
		実 績 額			8, 092, 000	8, 092, 000				0					0	8, 092, 000
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0	19, 400, 000	3, 300, 000		22, 700, 000					0	22, 700, 000
		予算計上額			130, 900, 000	130, 900, 000	19, 400, 000	5, 000, 000		24, 400, 000					0	155, 300, 000
投		実績額		84, 100, 000	125, 300, 000	209, 400, 000	18, 400, 000			18, 400, 000					0	227, 800, 000
,,,,	そ の 他	計画額				0				0					0	0
入		予算計上額				0				0					0	0
ŧ		実績額				0				0					0	0
٠	一般財源	計画額	4, 114, 000	33, 716, 000	44, 930, 000	82, 760, 000	67, 060, 000	70, 554, 000	14, 850, 000						0	235, 224, 000
れ		予算計上額	4, 114, 000	87, 767, 000	30, 799, 000	122, 680, 000	67, 060, 000	61, 825, 000		128, 885, 000					0	251, 565, 000
4		実績額	3, 861, 000	1, 450, 520	30, 332, 550	35, 644, 070	65, 673, 000			65, 673, 000					0	101, 317, 070
<i>t</i> =	事業費合計		4, 114, 000	33, 716, 000	44, 930, 000	82, 760, 000	86, 460, 000	73, 854, 000	14, 850, 000	175, 164, 000	0	0	0	0	0	257, 924, 000
事		予算計上額	4, 114, 000	87, 767, 000	169, 839, 000	261, 720, 000	86, 460, 000	66, 825, 000	0	153, 285, 000	0	0	0	0	0	415, 005, 000
		実績額	3, 861, 000	85, 550, 520	163, 724, 550	253, 136, 070	84, 073, 000	0	0	84, 073, 000	0	0	0	0	0	337, 209, 070
業費の推移	事業費予算の 内容		2体育館照明 L E D 化改修工事	北コミセン照明LED 化改修工事 11,781千円 分庁舎暖房器 339千円 分庁舎暖房をシー屋上 防水改修工事 75,647千円	かまり、10.330千円 10.330千円 10.330千円 15.180千円 17.180千円 ブルウスライン 10.736 17.580千円 かれあいセンター 空調設機 設定工事・75.278千円 かれあいセンター 15.278千円 かれあいセンター 17.587千円 かれあいセンター インターネット通信環境整備 2.078千円		改修工事 9,383 千円 さくら保育園照 明LED化改修工事 12,331千円 ふれセン外壁等 改修工事 64,746千円	事 5,610千円 ふれセン外壁等 改修工事 61,215千円								
	前年度予算との比較(増減理由)			前倒しにした実施予定外の事業の実施及びその事業費の増	が増えたことに		実施予定事業数 の減 入札減	積算見直しによる減								
	実績との比較 (増減理由)															

### [CHECK · ACTION]

Ħ	標の推	移·[	評価															
浔	動指標	1 (	「手段」をもとに設	設定)	指標名:公共建第	築物の維持保全事	業費	指標の求め方:4	公共建築物の維持	保全に係る事業額	i							
月	果指標	Į1 (F	「成果」をもとに討	設定)	指標名:公共建第	築物の維持保全実施	施状況	指標の求め方:計	†画している維持	保全事業実施割合	·							
Ī						第1次実施	53カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	十画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動	動指標 1	計画値	(3年度) 4, 114, 000		71, 123, 000	П п	64, 255, 000	73, 854, 000	(8年度)	н н	(9年度)	(10年度)	(川年度)	(12年度)	н и	
	指	自(自	100	実績値	3, 861, 000	.{	163, 724, 550		65, 673, 000	. L			<u> </u>		† <u></u>	<u></u>		<b> </b>
	標	成果	100	計画値	100				100		100	,						
		_		実績値	100	100	100		100									
		(活	業の達成度 話動指標をもとし	に評価)				達成されている										
			業の成果 対果指標をもとし	に評価)				上がっている										
			業の効率性 事業費に対する。	成果)				上がっている										
		総台	合評価					良好である										
the test than	事務事業評価	i 1	総合評 理の実 を 自 る 自 己 分	西と直に直に直に直に直に直に直に直に直に直に 割け 関連する かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいまい かいま	がなされている。	た更新年度に変 更が生じている が、計画通りの 更新がなされて いる。		計画掲載事業に ついては後年次 になったとして		自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後	後の方向性					現状のまま継続										
	改割				おり、今後も長寿 ともに、跡地活用 る必要がある。 また、小中学校の	中年数を迎え、多 寿命化や活用する 明などについても 別統廃合により大 早急に検討を進め	施設の見極め、適 考慮した上で施設 規模な未利用地が	用が見込まれて 可正配置を図ると なの方向性を決め 、生じるため、跡	R8 :				R10 :					

# 第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

## [PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	公用車計画更	新事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画 の位置付け	6-5-2	他に関連する 基本事業						所管課係	総務課契約管財係
目的 (何のために実施する のか)	公用車を計画的に	こ更新し財政負担	の平準化を図るた	<i>క</i> ు.	•			手段 (どのような方法で 実現するのか)	更新の基本ルール ※更新基準に到過	レは、走行距離15 達しても、車輌の	万kmまたは15年 状態が良ければ更	を経過とする。 新時期を見合わせ	さるなど、状況に応	なじた更新とする。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	公用車							成果 (どのような効果が 得られるのか)	計画的に車両更新	折することで、経	年劣化による故障	等により業務に支	「障を来たさず、a	また、財政負担も平準化される。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経													

## [DO]

実績

(単位:円)

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3 次実施4カ年計	画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
ì	黄 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
±	也 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
<b>さ</b>		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
れ  -	- 般 財 源	計画額	8, 073, 000	5, 300, 000	1, 215, 000	14, 588, 000	5, 815, 000	., ,	5, 600, 000		2, 610, 000	4, 000, 000	2, 600, 000	2, 600, 000	11, 810, 000	42, 423, 000
た		予算計上額	8, 147, 542	3, 154, 710	1, 827, 440	13, 129, 692	5, 815, 000	-,,		11, 416, 000					0	24, 545, 692
/=		実績額	5, 651, 506	7, 104, 615	1, 312, 584	14, 068, 705	4, 701, 851			4, 701, 851					0	18, 770, 556
事	事業費合計	計画額	8, 073, 000	5, 300, 000	1, 215, 000	14, 588, 000		., ,	5, 600, 000	16, 025, 000	2, 610, 000	4, 000, 000	2, 600, 000	2, 600, 000	11, 810, 000	42, 423, 000
		予算計上額	8, 147, 542	3, 154, 710	1, 827, 440	13, 129, 692	5, 815, 000	5, 601, 000	0	11, 416, 000	0	0	0	0	0	24, 545, 692
業		実績額	5, 651, 506	7, 104, 615		14, 068, 705	4, 701, 851		0	4, 701, 851	0	0	0	0	0	18, 770, 556
費の推	事業費予算の 内容		ホイールローダ1 台 購入費 5,587,496	購入費 3,038,600	<b>購入券</b>		コンパ° 介トSUV 1台 購入費 5,681,000	軽自動車 1台 コンパットSUV 1台 購入費 5,457,000 保険料 122,000 公課費 22,000								
移順	前年度予算と の比較 (増減理由)		購入予定台数の 増	購入予定台数の 減	購入車両の予定 価格が高くなっ たため		増	購入車両の予定 価格が低くなっ たため								
CH17	実績との比較 (増減理由)		入札減	購入台数の増	入札減		入札減									

## [CHECK · ACTION]

## 指標の推移・評価

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:	指標の求め方:活動指標の設定が困難であることから設定しない
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:成果指標の設定が困難であることから設定しない

(「成朱」をもと		141余12 ·	第 1 次宝体	3 力年計画		(木田県の政定が		3 力年計画			- 4	3次実施4カ年	+ 画		- 115
	-	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
		(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合計
5動指標 1	計画値	_	_	_		_	_	_		_	_	_	_		
(単位/ )	実績値	_	_				_				_	_			
<b></b> 发果指標 1	計画値	_		<u> </u>		_	_	_				_			
(単位/ )	実績値	_		_		_	_	_		_	_	_	_		
事業の達成度 活動指標をも	: もとに評価)				_										
事業の成果 成果指標をも	もとに評価)				_										
事業の効率性 事業費に対す					変わらない										
総合評価					良好である										
		適正な財産管理 を行うため計画 的な更新がなさ れている。	より、更新年度	を行うため計画 的な更新がなさ	判断理由: 計計の表 計画的な更新を 行係の表 行係の 学化が図られ ている。	を行うため計画 的な更新がなさ	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
総合訓	評価の判断														
理由るの実績	または指標 績値に関す														
0 8 5	己分析														
      後の方向性	:				現状のまま継続										
R5 :						R8 :			II.	R10 :				II .	
R5:					ことから、経過 的に車両を更新										
R8、R10)															
R8、R10	(1)	N <del>A</del>	N <del>o</del>												